



第63期 中間報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日

日本アビオニクス株式会社

証券コード：6946

CONTENTS

- 株主の皆様へ
- トピックス
- 事業の概況
- 株式の状況
- セグメント別の概況
- 会社の概況

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第63期上半期(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)の事業の概況等についてご報告申し上げます。

当社グループは、平成24年10月1日にNEC Avio赤外線テクノロジー株式会社を当社に吸収合併するなど、新たな体制で下半期をスタートしております。当上半期の事業構造改革の成果を活かし、一刻も早い復配に向けて、今後の当社グループの成長基盤を固めていく所存です。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わりなきご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月



代表取締役執行役員社長

秋津勝彦

事業の概況

上期の業績について

当上半期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要があるものの、欧州経済の政府債務危機に伴う景気減速や円高により輸出が鈍化し、個人消費も伸び悩むなど厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、厳しい経営環境のもと、売上高が伸びなくとも利益の出る体質となるべく、事業構造改革として民需製品の選択と集中、組織構造のスリム化、早期退職募集等による人員の削減等を実施しました。

この結果、当上半期における業績は、売上高が海外経済停滞の影響を受け前年同期比10.0%減の122億25百万円となりました。損益に関しましては、売上減少や情報システムの原価の悪化により営業損失が4億46百万円(前年同期比3億11百万円悪化)、経常損失が5億4百万円(前年同期比2億99百万円悪化)となり、さらに事業構造改革等に伴う特別損失15億71百万円を計上したことから中間純損失は13億92百万円(前年同期比10億11百万円悪化)となりました。

なお配当につきましては、業績向上に向けた事業構造改革に伴う大幅な特別損失の計上となりましたことから、誠に遺憾ながら中間配当は無配とさせていただきます。

連結財務ハイライト

| | |
|------------|-----------------------------------|
| ■ 売上高 | 12,225 百万円 (前中間期13,590百万円) |
| ■ 営業損失(△) | △446 百万円 (前中間期 △135百万円) |
| ■ 経常損失(△) | △504 百万円 (前中間期 △205百万円) |
| ■ 中間純損失(△) | △1,392 百万円 (前中間期 △380百万円) |

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 期数 | 前期 | 当中間期 |
|--------------|----|--------------|--------------|
| | | 平成24年3月31日現在 | 平成24年9月30日現在 |
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | | 18,237 | 19,146 |
| 固定資産 | | 9,776 | 8,920 |
| 有形固定資産 | | 7,446 | 6,470 |
| 無形固定資産 | | 205 | 156 |
| 投資その他の資産 | | 2,124 | 2,293 |
| 資産合計 | | 28,014 | 28,066 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | | 14,228 | 15,633 |
| 固定負債 | | 8,387 | 6,926 |
| 負債合計 | | 22,615 | 22,560 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | | 3,426 | 3,533 |
| 資本剰余金 | | 5,145 | 5,895 |
| 利益剰余金 | | - | 750 |
| 自己株式 | | △1,707 | △3,100 |
| その他の包括利益累計額 | | △11 | △11 |
| 純資産合計 | | 1,972 | 1,972 |
| 負債純資産合計 | | 5,398 | 5,505 |
| 負債純資産合計 | | 28,014 | 28,066 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 前中間期 | 当中間期 |
|-------------------|----|---------------------------|---------------------------|
| | | 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日 | 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日 |
| 売上高 | | 13,590 | 12,225 |
| 売上原価 | | 10,310 | 9,520 |
| 売上総利益 | | 3,280 | 2,704 |
| 販売費および一般管理費 | | 3,415 | 3,151 |
| 営業損失(△) | | △135 | △446 |
| 営業外収益 | | 27 | 47 |
| 営業外費用 | | 97 | 105 |
| 経常損失(△) | | △205 | △504 |
| 特別利益 | | - | 146 |
| 特別損失 | | 1 | 1,571 |
| 税金等調整前中間純損失(△) | | △206 | △1,929 |
| 法人税等 | | 174 | △537 |
| 少数株主損益調整前中間純損失(△) | | △380 | △1,392 |
| 中間純損失(△) | | △380 | △1,392 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別の概況

■情報システム

売上構成比率 **55.6%**

売上高…………… **68億2百万円**
(前年同期比**2.0%**減)

セグメント利益…………… **3億91百万円**
(前年同期比**2億87百万円**減益)

情報システムは、指揮・統制関連装置が増加したもののその他の装置が減少したため、売上高は減少しました。セグメント利益は新規プロジェクトの開発コストの増加等により減少しました。



指揮・統制装置 表示・音響装置 電波応用装置 ハイブリッドIC

■電子機器

売上構成比率 **16.1%**

売上高…………… **19億63百万円**
(前年同期比**19.0%**減)

セグメント利益…………… **1億18百万円**
(前年同期比**70百万円**増益)

電子機器は、映像機器が事業収束に伴い減少し、接合機器は電子部品製造用装置が海外経済の停滞の影響により減少したため、売上高は減少しましたが、セグメント利益は費用削減に努めた結果、増加しました。



パルスヒートユニット YAGレーザー溶接機 全自動シーム溶接機

■プリント配線板

売上構成比率 **14.3%**

売上高…………… **17億52百万円**
(前年同期比**17.9%**減)

セグメント利益…………… **55百万円**
(前年同期比**31百万円**減益)

プリント配線板は、景気の減速に伴う半導体試験装置等の需要の減少により、売上高は減少しました。セグメント利益は売上高減少により減少しました。



携帯電話基地局用バックボード 半導体プローブカード パンインテストボード(ソケット面)

■赤外線・計測機器

売上構成比率 **14.0%**

売上高…………… **17億7百万円**
(前年同期比**18.3%**減)

セグメント損失…………… **3億5百万円**
(前年同期比**65百万円**改善)

赤外線・計測機器は、海外経済の低迷により輸出が減少したほか価格競争の激化、単価の下落等により売上高は減少したものの、セグメント損失は改善しました。



赤外線サーモグラフィ SRシリーズ データアキュイジション装置 RM1100 Thermo GEAR G100EX/G120EX

トピックス

平成24年7月24日 ファイバレーザ溶接機LW-F1000 発売

近年需要の高まっている非接触式のレーザ接合装置において、従来の半導体レーザ方式、YAGレーザ方式に加え、新たにファイバレーザ方式をラインアップしました。

ファイバレーザ溶接機は、他のレーザ方式に比べてビーム径が細くエネルギー密度が高い特長を持ち、微小な溶接物や反射率の高いアルミや銅などを高品質に接合することが可能です。



平成24年9月27日 第三者割当増資を実施

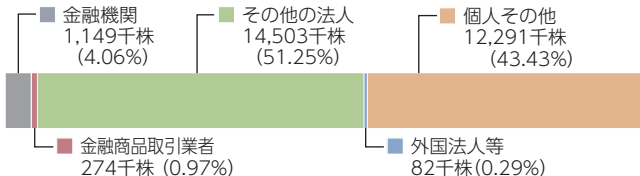
事業構造改革に必要な資金に関して、親会社である日本電気株式会社を割当先として第2種優先株式150万株を発行し、15億円を調達いたしました。これにより資本金および資本準備金がそれぞれ7億50百万円増加しております。

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

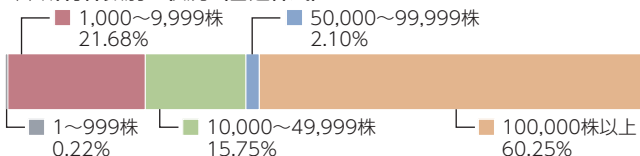
| | 普通株式 | 第1種優先株式 | 第2種優先株式 |
|--------------------------|----------|---------|---------|
| (1) 発行可能株式総数 80,000千株 | 76,000千株 | 4,000千株 | 1,500千株 |
| (2) 発行済株式の総数 30,600千株 | 28,300千株 | 800千株 | 1,500千株 |
| (3) 株主数 | 3,618名 | 1名 | 1名 |

(注) 第1種優先株式および第2種優先株式は、日本電気株式会社が全株所有しております。

(4) 所有者別分布の状況 (普通株式)



(5) 所有株数別の状況 (普通株式)



会社の概況 (平成24年9月30日現在)

会社の概況

- 商号 日本アビオニクス株式会社
- 英文商号 Nippon Avionics Co., Ltd.
- 設立 昭和35年4月8日
- 資本金 58億95百万円
- 従業員数 1,077名 (連結) 715名 (単独)
- 証券コード 6946

■ 営業所および工場

本社、横浜事業所、新横浜事業所、府中支店、名古屋支店、大阪支店、福岡支店、熊谷営業所

(注) 平成24年10月1日付で大阪支店を西日本支店、名古屋支店を中部支店と改称しました。また同日付で福岡支店を廃止し、西日本支店に統合しております。

役員 の 状況

取締役

| | |
|-------|------|
| 代表取締役 | 秋津勝彦 |
| 取締役 | 川島雅幸 |
| 取締役 | 関芳雄 |
| 取締役 | 露木満 |
| 取締役 | 齊藤幸夫 |
| 取締役 | 西村知典 |
| 取締役 | 清田瞭 |

(注) 西村知典および清田瞭の両氏は、社外取締役であります。

監査役

| | |
|---------|------|
| 監査役(常勤) | 清水敏夫 |
| 監査役(常勤) | 鈴木智雄 |
| 監査役 | 山本徳男 |
| 監査役 | 古川久生 |

(注) 鈴木智雄、山本徳男および古川久生の3氏は、社外監査役であります。

執行役員

| | |
|--------|-------|
| 執行役員社長 | 秋津勝彦※ |
| 執行役員常務 | 川島雅幸※ |
| 執行役員 | 関芳雄※ |
| 執行役員 | 露木満※ |
| 執行役員 | 池田功 |
| 執行役員 | 齊藤幸夫※ |
| 執行役員 | 井川裕三 |
| 執行役員 | 土川稔 |
| 執行役員 | 木内一雄 |

(注) ※の執行役員は、取締役を兼務しております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要のあるときはあらかじめ公告します。
- 株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-176-417
<※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。>
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.avio.co.jp/ir/index.htm>
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座を開設されている株主様
⇒ 口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
⇒ 上記電話照会先にお願いいたします。

日本アビオニクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田八丁目1番5号
TEL. 03-5436-0600 <http://www.avio.co.jp>

